



2004年12月1日

発行 相原まちづくり協議会
責任者 島崎郁也 杉崎太吉
所在地 町田市相原町1241
電話 042(774)8705

工事が進む中央公園多目的広場



来年4月16日に盛大な

「フェスタ相原100」を開催

待望の相原中央公園が17年3月までに第1期工事が、完成し来年4月から開園します。また、(財)相原保善会でも共有地確定が100周年を3月に迎えますので、併せて来年4月16日(土)に式典を行います。地域の方への周知徹底とお祝いを兼ねて、同日、盛大な「フェスタ相原100」を開催します。開催するのは町田市、相原町連合町内会、相原まちづくり協議会、相原公園中央公園建設推進委員会、財団法人相原保善会などと町内の各種団体です。場所は新しく出来る中央公園の多目的広場です。時間は午前10時から午後7時までです。午後7時までに行っているのは、多目的広場はナイター施設ができるため、それも、生かしたイベントを検討しているからです。

当日は式典、フリーマーケット、模擬店、公園内散策、ソフトボール、野球、サッカー、サイン会、ミニ動物園、鼓笛隊、郷土芸能、歌、踊り、ミニSLなどを予定しています。実施団体として「フェスタ相原100」実行委員会(北島一夫委員長)が結成され、具体的な内容を検討しています。同委員会は舞台イベント委員会(中島博委員長)、広場イベント委員会(杉崎太吉委員長)、運動イベント委員会(井上善夫委員長)などに分かれています。舞台イベント委員会では、舞台の

進行、司会、案内放送、郷土芸能、受付、接待などを担当します。広場イベント委員会はフリーマーケット、模擬店、ミニ動物園などを担当します。運動イベント委員会は子どものスポーツ教室、遊び、公園散策などを担当します。

昨年6月1日に開かれた「ニュー相原駅フェスタ」に匹敵する規模のイベントを計画しています。

来年度から管理棟など中央公園の第二期工事へ

昨年秋から着工している相原中央公園は今年度末までに第一期工事が終了します。完了するのは、多目的広場1の表面工事、照明、水道、ベンチ、倉庫、トイレ工事、壁打ちテニスコートです。多目的広場1は縦120m、横90mあり、野球、サッカーなどに利用されます。高さ23mのナイター施設も5基、配置されます。

来年度から第二期工事になります。具体的には、管理棟、テニスコート、80台置くことができる駐車場、ゲートボールなどに利用できる多目的広場3です。管理棟は建築面積304平方mで、男女の更衣室、多目的室、ラウンジ、トイレ、倉庫などからなっています。来年4月から工事が始まり、3月末までに完成の予定です。

さらに18年度では、山の植栽、子どもの広場、炭焼き小屋などが検討されています。

久米準氏の「川とまちづくり」 講演会を開催



第7回まちづくり講演会が11月21日に堺市民センターで行われました。テーマは相原町を源流とする境川を見直し、まちづくりに活用できないかということです。講師は「境川を歩こう」の著書のある久米準氏です。久米氏は東京都の小学校校長を退職後、町田市教育委員会文化部の嘱託職員として、大地沢青少年センターに勤務したことがあります。

久米氏の講演内容は以下の通りです。

大地沢センターに行って最初に読んだのは「相原共有地沿革史」ですが、すばらしい本でした。境川とのかかわりですが、大地沢に勤務することから始まります。私の仕事は、大地沢に宿泊施設ができ、川上村にも施設ができたので、そこに子どもたちが行くから、教師用の冊子を作ることでした。退職の年だったので、その仕事を私も希望しました。先生の教材とは別に、境川について私が欲しいなあということで4人で「境川を歩こう」の本を書きました。

調査の段取りとして、1月にバスの終点から大地沢の青少年センターのあるところまで書き、2月は雪のある時に草戸山に登り、その記録、6月は梅雨の大地沢を書きました。夕闇せまる城山湖など、その時々記録して、11月まで続けました。

そうすると12月は書くことがなくなりましたので、2日に源流から河口の江ノ島まで歩いてみました。大地沢センターを午後5時半に出て、江ノ島の河口に午前10時50分に着きました。15時間20分、歩いたことになります。夜、暗いときに歩いたので、時間のロスもあったかもしれませんが。夜のため、川がどうなっているか、見ることはできませんでした。このため、別の日に日中、歩きました。1回目は源流から町田まで、2回目は町田から源流までです。川は汚れていて、よどんでいました。特に大戸付近が汚れていま

た。これは、川が蛇行しているからです。護岸がはっきりしていない。大地沢は川が見えない。倒れた木が大地沢の川を埋めていました。川下をきれいにするには、川上がきれいであればならない。そこで、私は材木を取り除きました。141本ありました。大地沢を整備したことで、杉の葉が流れのが少なくなりました。

源流から河口までチームを募集して、歩こうとの声があり、5回、実施しました。1回目は37人でしたが、2回目は定員40名のところを60人、70人とあり、お断りするほどでした。参加した人は、境川の源流がどこにあり、どう流れて、どこの海に流れているか、知らなかったので知りたかったという人が多かったです。終わったあと、江ノ島の海を見ながら「一つのことをなすとげた後の気持ちは最高です」という参加した人の言葉が嬉しかったです。「この気持ちを忘れないために、何かに挑戦したい」と言っていました。参加した人が、境川を詩に詠った人、自転車で、もう一度境川を踏破した人、一緒に行った仲間と山に登ったなどの連絡ももらいました。

「川を生かしたまちづくり」は私より地元に住む、皆さんが一番よくわかっていると思います。私が今、住んでいる伊勢原市では大雨の時に板戸川が氾濫して、工場の油が流れたりして、問題になりました。このため、住民が板戸川をよみがえらせるため、会を作り、川の清掃などに力をいれています。ゴミ拾いだけでなく、生物調査や展示をして、住民に呼びかけたら、ゴミを捨てる人が減少しました。また、渋田川では、土手に芝桜を植えたら、地域全体で応援するようになり、今では500センチくらいの長さに植えてあり、名物になっています。駅に案内人を置くほどです。川を学習用に使っているところもあります。子どもが川に入って、生物調査しているところもあります。このため、父兄が川をきれいにして、ゴミを捨てなくなってきました。

私は、皆さんに、この会をもとにして、是非、何かを立ち上げて欲しい。例えば、源流から皆さんの近くまでの境川の動植物の写真をとって、どこかで展示するのも一つです。憩いの場として、遊びの場として、境川を見直して具体的行動に結び付けて欲しい。こういう植物がある、ゴミで汚れているなど写真にして、啓蒙することも必要です。グループで何かを作って、みんなに見てもらう。それを発表する機会、展示の機会を与えてもらいたい。

「いまやらなければいつできる。ワシがやらなければ、誰がやる」という言葉がありますが、子どもたちに物を残すことは必要です。いま書いておかないと、後の人が困ります。是非、文章なり、写真なりで残して欲しい。

相原子どもセンター 一步前進！

11月12日に、相原地区子どもセンター基本構想検討委員会が開催され相原の子どもセンター建設の第一歩がスタートしました。

委員会は学識経験者・地元関係者とコンサルタントで構成され、座長は井上春雄氏が家政学院大学の教授や相原連合会長や相原小学校長と青少年育成団体等が参加し地元の高校生二名などメンバー12名で運営されます。地元の検討状況から始まり施設整備・運営までの基本構想が検討され3月までの5回の会議で設計のための提案を決定します。相原中央公園そばの土地に、相原小学校の裏門も近く、下校時に立ち寄れる場所でもあるので、何らかの条件を勘案して利用度を上げることも話題になりました。南地区のバーンの駐車場部分はずした位の広さの利用面積・建物と考えております。相原の子どもたちが学校では出来ないことをここでやり、仲間で行動できる時間をとることが出来る場所となれば理想です。若い母親たちの子育て情報の交換場所でもあり憩いの場ともなれる場所です。相原からの要望・注文はこの検討会で沢山出しておかないと希望のセンターが生まれません。子ども会、健全育成会または連合町会に、どしどし提案してください、毎月19日に子どもセンター準備運営委員会を開いて検討会への提案を取りまとめしております。こども、母親、父親の熱い要望で使えるセンターを作りましょう。

「花の町相原推進委員会」

活動報告

平成13年4月に相原地区連合町内会が中心となって発足し、活動もおかげさまで3年になりました。ここで私達の活動内容を報告させて頂きたいと思っております。発足の目的は、“相原地域の町興しの一環として、相原地域を花で飾り、「花の町相原」にふさわしい町づくりを推進していくこと”(会則より)です。活動の主な収入源は相原連合町内会助成金、各町会分担金、会費、事業収入から成り立っています。会員数は現在約70名になります。次に16年度の主な事業活動(予定も含む)を報告します。1・会員向け 7月、12月寄せ植え・園芸講習会 季節の花を飾りつけます。8月「ピオラ」の花の種を配布 1月新年会2・花壇の推進 花壇の設置と整備 花壇設置場所 堺市民センター前、諏訪神社信号機下丸山団地自治会(共同) 境三叉路ローソン相原横、武蔵岡団地前商店街にプランターの設置(相原商業活性化の会)3・花の町推進 5月ガーデニング見学会過去の「花の町相原花壇コンクール」入賞者の花壇を見学し、学びました...

オープンガーデン 8月家庭の花壇づくり「ピオラ」の種配布により行いました 10月「ふるしき市」への参加季節の寄せ植えを竹の鉢にして販売し、即完しました JAO 会の皆様方のご協力を頂きました適時 相原の「花と木」推進制定した相原の花：すみれ(パンジー)・コスモス・花水木を植え、イメージを醸成する4・研修・広報 11月研修旅行の実施「高津戸峡」「敷島バラ園」など見学 37名参加 今後の活動について 「相原中央公園」の整備や横浜線開業100年イベント、JR相原駅周辺道路などの整備が予定されています。関係機関の要請を受けて、私達も協力し、「花の町」を推進していきたいと思っています。「花の町相原会員」ももっと多くの方に参加加入して頂きたいと思っております。お近くの会員や推進委員にお声をかけて下さい。皆様の力でもっと相原の町を緑豊かな魅力ある町にしましょう。花壇の水やりは特に夏に必要とされます。皆様のご協力を頂けると幸いです。また活動についてのご意見・ご要望などございましたらお寄せ下さい。お待ちしております。

委員長 斉藤 賢司 ☎779-5397



「寄せ植え講習会」の様子



研修旅行「高津戸峡・敷島バラ園」

J A O会の炭焼き

1月から始まります

希望者は参加して下さい

炭焼きシーズンを迎えましたが、J A O会は1月から竹炭焼きを実施します。今回は別表のように20回実施します。昨年は16回でしたが、今年度は4回を多くしています。今回は多くの方が参加できるように土曜、日曜を増やしました。炭焼きは7～8人を1グループとして、4グループで、それぞれ5回ずつ炭焼きすることになっています。

炭焼きは2日にわたります。窯(かま)の火入れ式は午前4時から行います。炭出しは翌日の午前8時30分からです。

炭焼きの場所は、相原中央公園内です。

J A O会炭焼日程(予定)

○印火入れ焼き AM 4:00～PM 17:00

印炭出し AM 8:30～PM 11:00

会員以外の方見学体験もご自由にご参加下さい。

(4月については別に決めます)

グループ	1月	グループ	2月	グループ	3月
A	○14日(金) 16日(日)	B	○ 6日(日) 8日(火)	A	○ 5日(土) 7日(月)
B	○17日(月) 19日(水)	C	○ 9日(水) 11日(金)	B	○ 8日(火) 10日(木)
C	○20日(木) 22日(土)	D	○12日(土) 14日(月)	C	○11日(金) 13日(日)
D	○23日(日) 25日(火)	A	○15日(火) 17日(木)	D	○14日(月) 16日(水)
A	○26日(水) 28日(金)	B	○18日(金) 20日(日)	A	○17日(木) 19日(土)
定例会 20日(木)		C	○21日(月) 23日(水)	B	○22日(火) 24日(木)
		D	○24日(木) 26日(土)	C	○25日(金) 27日(日)
		定例会 17日(木)		D	○28日(月) 30日(水)
				定例会 17日(木)	

J A O会は第3木曜日午後1時から、まちづくり相談所で定例会を開いています。N P O法人取得の準備中です。会員を募集しています。

連絡先は042-782-6968 本徳亘良

高齢者在宅サービスセンターが

いよいよ着工へ

町田市の高齢社会総合計画で地域の見守り支えあいの活動拠点として、相原高齢者在宅サービスセンターが、大戸の水の口の消防団詰め所そばに建設されます。

10月14日に町田市と地元のNPOやまゆり会との合同で、着工を祝う会が開催されました。町田市長や地元の関係者や高齢者の方も方々の出席で祝いました。建物は床面積600平方メートルの2階建て鉄筋コンクリート造りで1階 食堂・機能訓練室・浴室・厨房・溜まり場コーナー2階 ヘルパーステーション・多目的室などが設置されます。竣工は平成17年7月、開設は10月の予定で工事は進みます。NPOやまゆり会が、町田市の職員共々運営にあたりますが通所介護事業、訪問介護事業、居宅会議支援事業などが実施されます

相原駅前にタクシーが常駐しています

相原駅前東口にカンツリー交通のタクシー1台が配置されました。ご利用下さい。

相原J A O会(傘) 引き続き傘募集中
駅の東西に1ヶ所ずつ設置してから傘が不足しています。是非御協力ください。相原まちづくり相談所は担当者不在になりましたので隣の中島宣伝社様にてお預かりいたします。

お知らせ

相原まちづくり協議会 第5代理事長 今村忠志氏が、家事都合により8月にて辞任されました。後任は規定により、来年4月の総会にて選出となりますので現副理事長の杉崎太吉・島崎郁也2名が理事長代行として任にあたります。

編集後記

よりよいまちづくりのために何人もの人たちが、ボランティアで動いていることに今更ながら関心と感動を覚えました。相原にはとても由緒ある場所が多くありますが、中相原に鎌倉古道が通っていて昔の人が品物を担いだり、旅をしたときにこの古道を利用したようです。高崎方面や八王子から町田、厚木を通り、鎌倉に絹を運んだり、旅に利用した人もいたことでしょう。由緒ある相原でまちづくりができる喜びを抱きこれからも精を出して活動していきたい。

今号の「あいとぴあ」は題字からイラストまで若手広報で編集いたしました。いろいろとご指導ご鞭撻お願い致します。(島、原、古、須)